

クリエイティブひがしね ニュース

発行 NPO法人クリエイティブひがしね 999-3796 山形県東根市中央1-5-1 TEL 0237-43-0732
タントクルセンター内 www.higashine.org

ひがしね祭でデビュー

あそびスターダンス部



時代の中の子どもたち

タントクルセンター 村田 民雄
センター長

自分の子ども時代を含め、子育ての時代、そして孫育ての時代と、それぞれ20年ほどの時間をおいた、三つの時代の子どもの姿を見てきたことになる。

戦後の貧しい時代に少年期を過ごした私たちが、まず思い浮かべるのは外遊びの多様なことだろう。男子はチャンバラ、パッタ(めんこ)、ニッキ(釘打ち)、ビー玉、すもう、女子はおはじき、おてだま、ゴムとびなどなど、そして毎日やって来るのが紙芝居。とにかく遊びがいそがしくて勉強する時間がなかった。農家の子は労働力としても期待され、「あすんでばりいねで勉強する」などという親は見たことがなかった。

このような少年時代を経験して、日本の高度経済成長を支えた人たちは、自分の子育てにその経験を生かすことはなかった。子育てから多様な価値観と選択肢が失われ、偏差値という一本物差しが巾を利かせた。高学歴社会と引き換えに生きる力が失われ、ファミコンの登場で子どもの集団が細分化していく。このようにして、敗戦後の一億総貧乏の中で、エネルギーな力を与えてくれた遊び集団は消滅していった。

書店をはじめ40有余年は世代を超えた子どもたちとの出会いでもあった。本や雑誌は今では考えられないほどよく読まれた。週刊少年ジャンプのピーク時は250冊が発売日の夕方まで持たないほどの売れ行き。雑誌やコミック、文庫の発売を待つ子どもたちは店先にあふれ、本屋は子どもたちの社交場でもあった。

そんな時代の忘れられない少年。正月明けにシャッターを開けると6年生の少年と父親が立っていた。万引きを詫びに来たという。2年前のことと聞き耳を疑い、思わず「黙っていればわからなかったことなのにいまなぜ」と絶句した。少年はだれにも見つからず万引きに成功したのに、もう一人の「自分」に責め続けられたのだった。2年間悩んだ末、12月31日、父親に打ち明け、年が明けた初売りの日にあやまりにきたのだという。子どもにとっての2年間の長さを思う。

さまざまな子どもたちが店を訪れ、社会に巣立っていった。あの少年はいまどんな大人になっているだろうか。どんな親になっているだろうか。そして息子たちにとってどんな父親になっているだろうか。

自主事業

あそびすたー ダンス部「ひがしね祭り」に出演！

8月11日(日)、ひがしね祭り「おどりの競演」に私たちスタッフは子どもたちと一緒に参加しました。はじめは「どうなることやら」と心配しましたが、本番が近付くにつれ、動画を撮って家に帰って練習したり、夜、汗だくになって何回も踊ったりとみんな真剣になってきました。ひそかに狙っていたベストスマイル賞は逃しましたが、全員の気持ちがひとつになり、会場も一緒に盛り上がり、キラキラ輝いた感動の暑い夏になりました。みんなの頑張りに感謝感激です。(奥山美和)



パティスリークリエイト

7月31日(水)、子ども限定「パティスリークリエイトおかし作り」を行いました。メニューは、「イチゴムース」と東根産さくらんぼ入「蒸しパン」の2品です。参加してくれた13名の子ども達はみんな真剣な眼差しで、切ったり混ぜたり、まさに「パティシェール」。試食の時には緊張も解け、その日一番の笑顔で自分たちが作ったお菓子を食べました。子供たちから『楽しかったー』『またやりたい』の声をいただきました。この言葉を励みに次回もたくさんの笑顔が見られるよう活動していきたいと思います。(佐々木聖子)

出前 あそびすたー

夏休みが始まったばかりの7月27日(土)、東根市立大森小学校6年生の学年行事に遊びの出前に行ってきました。その日は学校にお泊りのため、「汗をかかない程度の遊び」というご注文でしたが、170名の親子と体育館で約1時間、じゃんけんを中心とした遊びに最後は白熱してしまい、ちょっぴり(?)”汗”をかいてしまった遊びの出前でした。キラキラ輝く子ども達に、「遊びっていいなあ～また出前したいなあ～」と思いました。(結城栄子)



クリエイトマーケット

クリエイトマーケットとは、まだ使えるもったいない物や趣味で手作りしているものを、けやきホールの受付前に持ち寄って、月に1回、第4月曜日～金曜日に行っているフリーマーケットです。出品者同士の交流の場にもなっています。出品者は毎月募集しています。買うのもOK! 売るのもOK! 一度のぞきにきてくださいな。(石山千晶)



クリエイティブひがしねメンバー紹介

工藤 陽香



ひがしねあそびあランドを中心にファミサポや、けやきホールに勤務しています。以前は保育園や学童保育に務めていました。高校生の時にけやきホールでボランティアをさせて頂いたことがきっかけとなり、短大時代にはアルバイト、そして現在はブレリーダーとしてクリエイティブの一員になりました。食べる事と歌う事がだいすきな騒がしい私です！勤務地3か所をグルグル回っていますので、今日の陽香はどこにいるかな？探して下さい

安達 恵美



あそびあ所属、けやきホールでは月曜日にお世話になっております。以前は洋裁の仕事をしておりましたが、子育てをしていく中で子どもと関わる仕事に就きたいと思っていました。タイミング良く屋外に遊び場ができたとき、仲間に入れていただき、5月のオープンから子ども達と共に日々成長させて頂いております。これからも初心を忘れず遊育を社会に広め子ども達の笑顔いっぱいの遊び場を創るお手伝いのできたら嬉しく思います。

板坂 諭



こんにちは。歌うことが大好きな「さっしー」こと板坂諭です。剣道に弓道と6年間武道をしていました。もちまへの精神力で仕事に一生懸命取り組んでいます。楽器を弾いたり苦手ですが、リズムで遊ぶことがだいすきでけやきひろばでは4つのテーマのひとつ「リズムであそぼう」を担当しています。あそびあランドではどろ遊びがだいすきなのでぜひどろどろになって一緒に遊ぼう！

高橋 陽介



4月から、あそびあランドを主に勤務しています。また、毎月第4土曜日のパサロンを担当しています。出身は大石田で毎日大石田町から通っています。以前は、保育園で保育士をしていました。保育士の経験も活かしながら、新しいことにもチャレンジしてがんばりたいと思っています！よろしくお願ひします。ぜひ、あそびあランドやけやきホールに遊びに来た時は、気軽に声を掛けてください。

ひがしねの子どもたちの健やかな成長のために皆さんの力をお貸しください。

企画員募集

私たちの活動目的に賛同し、いっしょに活動に参加していただける方。

入会金 2000円
年会費 3000円

賛助会員募集

私たちの活動を財政的にささえていただける個人・団体・企業・事業所。

一口 2000円より

事務局の窓

5月5日にあそびあランドがオープンして4ヶ月が経過しました。おかげさまで、20万人を超える来園者の親子で賑わっています。また「子育てするなら東根市」を象徴するタントクルセンターでの子育て支援に関する事業も、さらにパワーアップしています。地域に向いた移動子育てサロン「おひさま」の様子やけやきホールでの子どもたちの笑顔など等、クリエイティブニュースでは伝えきれない、「今」をホームページやフェイスブックで発信しています。是非とも、タントクルセンター&あそびあランドをチェックしてみてくださいね！（村山）

編集後記

子どもたちが押し寄せ「あそびあランド」のオープンから4カ月、当初タントクルセンターは閑古鳥が鳴くのではと心配しましたが、夏をはさんで、暑い日、雨の日はタントクルで使い分けしている姿が浮かんできました。スタッフも状況に合わせてながらバランスを保ってきました。それにしても、テレビ、新聞、ミニコミ誌がこぞって「あそびあ」を取り上げ宣伝効果はバツグン！。秋冬をどのような企画で子どもたちを迎えるか、「子育て」の最先端東根市を全国が注目しています。（M）

クリエイティブひがしねの活動が覗けます

ホームページ [クリエイティブひがしね](#) [あそびあランド](#)
フェイスブック [あそびあランド](#)
けやきホール